

シンコーエステック 株式会社

意思疎通を重視して

高品質の金属プレス部品を製造

納期相談
企画力
自信有
コスト相談
①
オンリーワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



300tプレス機での製造の様子

主な事業内容

金属プレス部品の製造・販売

主な取引先(納入先)

建築金物、自動車部品、
サニタリーパイプ継手の各メーカー

主な製品

住宅設備用部品、自動車部品、
ステンレス配管継手部品

業務内容

住宅設備部品や自動車 下回り部品を手がける

シンコーエステックは、プレス加工により金属部品を製造する専門メーカー。主な製品は住宅設備用部品や自動車用リアクスルユニット、サニタリーパイプ継手など。自動車部品のサプライチェーンの中では、従業員約20人の中小企業でありながらTier2に位置付けられており、技術力と品質には高い信頼が寄せられている。

昭和30年に佐藤大記社長の父・佐藤進現会長が創業。家電製品や制御機器向けの金属部品などのプレス加工を長く続けてきた。平成に入り家電製品などの海外生産移転を受け、住宅設備部品や自動車部品といった新たな分野に進出した。

強み

情報共有や声かけで 品質管理を徹底

プレス金型の設計・製作からプレス加工、板金加工、溶接、組立までの一貫生産体制を敷く。また、鉄やステンレス、銅、アルミなど様々な素材の加工を通じており、アルミの薄板・箔のプレス加工のほか、プレス時に樹脂製品も一体成形するインサート成形など特殊加工のノウハウも持つ。

品質管理などの仕組みや体制づくり

社長あいさつ



代表取締役社長
佐藤 大記さん

当社はコミュニケーションと人とのつながりを大事にし、「動き、挑み、励ます」を企業理念として、金属プレス加工分野で長く事業展開してきました。今後もあらゆるニーズに応えられるよう技術を磨き続け、幅広い顧客から信頼を得られるよう努めています。

主な保有設備

- ダブルクランクプレス TPWL300ほか
アマダプレスシステム製 13台
- サーボプレス SDE202S
アマダプレスシステム製 1台
- 自動ロボット溶接機 TA-1400
パナソニックコネクト製 1台
- マシニングセンタ MB-56VA オークマ製 1台
- ワイヤカット放電加工機 EU64ほか
牧野フライス製作所製 2台

大阪
06

住 所／〒581-0052
八尾市竹淵
2-140

T E L／06-6708-1080
F A X／06-6709-0021

創 業／昭和30年3月
設 立／昭和40年6月
資本金／1,000万円
従業員／20名

経験値 挑戦を通じて 経験を財産に

はもちろん、社員間の意思疎通をも大切にすることが同社の最大の特長。スタッフ間の円滑な情報共有はもちろん、確認や注意喚起のための「声かけ」により品質改善に努め、不良品の発生を防いでいる。「人対人のコミュニケーションこそがシンコーの魂」と語る佐藤社長は、その効果に胸を張る。

同社は、一般消費者向けの知育玩具や台所用用品の製造も引き受けている。知育玩具は磁石を利用して、人や動物をかたどった金属板を立てて遊ぶゲームで、金属板のプレス加工を担当する。プレス加工で磁石の上で立つよう密着しやすい平滑な断面にしながら、安全性にも配慮するため角に丸みを出すなどのきめ細かな加工を行っている。

「これまでの挑戦がすべて財産になっている」と語る佐藤社長。同製品もその一つであり、経験と蓄積をもとに新たな取り組みや提案型の営業活動に役立っている。

また、金型部門とプレス加工部門が日々連携して課題解決と品質の作り込みを行っているが、ここでも、過去の経験が生かされている。これからの挑戦を通じて経験という財産を積み重ねていく。



知育玩具は安全にも配慮して加工



自動車用部品など金属プレス製品



<https://www.shinko-stec.com/>